

ティーエスフーズ株式会社の事業再編計画の概要

冷凍餃子等を製造しているティーエスフーズ株式会社は、埼玉県に所在する築43年を過ぎている本社工場を撤去し茨城県に新しく建設するとともに、新設備を導入することにより、製造体制の効率化及び製造能力の拡充を図る。

今回の事業再編により、国産野菜を使用した商品の増産を行う。この取組により**国産農産物調達量及び農業者との直接取引量を拡大し**、生産者の経営安定につなげることを目指す。

<事業再編計画概要>

【実施時期】 令和3年4月～令和7年5月

【事業構造の変更】

施設の相当程度の撤去
及び設備の廃棄

- ・ 現本社工場の撤去
- ・ 新本社工場建設



【事業方式の変更】

- ・ 新工場の新設と新設備の導入
→ 製造・出荷体制を強化・効率化して、生産性向上を図る。
- 冷蔵設備を増強し配送の効率化を図る。
- ・ 国産野菜の調達量増加
→ 国産キャベツ及び茨城県産キャベツの調達量増加。

【支援措置】

- ・ 金融支援（日本政策金融公庫による低利融資）
- ・ 税制特例（設備投資に係る割増償却）

【目標】

（農産物流通等の合理化）

キャベツ調達量 令和元年度 650t → 令和6年度 1,400t

（うち、茨城県産キャベツ 令和元年度 290t → 令和6年度 350t）

茨城県内の契約農家数 令和元年度 6件 → 令和6年度 9件

（生産性の向上）

従業員1人あたりの付加価値額 R元年度：4.5百万円→R6年度：6.3百万円